

平成30年度 兵庫県立川西緑台高等学校 学校評価

職員による学校自己点検					平成 30 年度 (%)					平成 29 年度 (%)					平成 28 年度 (%)				
領域	評価の観点	評価項目		実践目標	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない	4 100%~	3 80%~	2 50%~	1 20%~	・ わからない
学校運営	開かれた学校づくり	家庭、地域への情報発信	1	学校のＨＰを通じて、学校の情報を可能な限り公表し、内容の更新も月ベースで実施する。	15	44	21	0	21	32	44	16	0	8	10	46	13	4	17
			2	中学校訪問、オープンハイスクール、オープンスクール、学校説明会等を通じ、学校のＰＲ活動を充実させる。	18	41	24	15	3	48	44	4	0	4	25	54	8	2	2
		地域や関係機関と連携した学校づくり	3	地域や近隣の学校・関係諸機関との連携を密にし、不審者等の情報を共有する。	18	56	21	0	6	32	56	0	0	12	6	56	19	2	6
	生徒指導	生徒指導方針の確立と指導体制の推進	4	職員・生徒・保護者に生徒指導方針を明確にし、共通理解を図る。	26	56	15	3	0	20	56	20	4	0	6	60	19	4	0
		生徒の内面を育てる指導の工夫	5	随時個人面談を実施するとともに、家庭との連携を図り、必要に応じ家庭訪問を実施する。	35	50	6	0	9	36	40	4	0	20	17	58	8	4	4
			6	キャンパスカウンセラーによるカウンセリング研修を実施し、生徒の内面理解に基づく指導について実践力を向上させる	29	50	15	0	6	48	36	4	0	12	15	63	6	2	4
			7	教育相談を充実させ、生徒の内面理解を深める。	35	38	18	0	9	32	40	12	0	16	15	69	10	2	2
		生徒の自主・自立の精神を育む指導の工夫	8	生徒会活動、部活動を活性化し、生徒の自立意識を高め、一人一人の生徒が自己の特性を生かし、創造性、協調性を発揮して、充実した活動ができるように努める。	21	68	12	0	0	36	60	4	0	0	8	56	15	2	8
	進路指導	進路指導の充実	9	三年間を見据えた進路計画を作成し、組織的・継続的な進路指導を行う。	12	47	38	0	3	12	64	16	4	4	8	60	13	6	4
			10	進路状況、模試等の結果を分析し、進路指導に活かす。	24	44	29	0	3	16	64	16	4	0	15	56	13	4	4
			11	模試等の結果を分析し、学習指導に活かす。	6	53	38	0	3	20	44	28	4	4	8	58	19	4	2
			12	「進路情報」の発行により、生徒・保護者に的確な情報を提供する。	15	50	26	0	9	16	20	32	8	24	2	65	10	4	10
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	13	外部講師を活用した講演会、大学出前講座等により、生徒の進路意識を向上させる。	32	50	9	6	3	56	28	16	0	0	27	54	4	2	2
		主体的な進路選択能力の育成	14	ＬＨＲや総合的な学習の時間で職業観、勤労観を育成する。	18	50	21	3	9	24	52	8	0	16	19	56	13	2	0
			15	ＬＨＲや総合的な学習の時間で、自らに適した職業、学部・学科等を見つけることができる力を身につけさせる。	26	29	24	0	21	32	40	8	0	20	10	65	10	6	0
教育課程	教職員の資質の向上	計画性を持った研修の実施	16	研究授業、公開授業を積極的に行い、教科指導の工夫と指導力の向上を図る。	15	56	24	3	3	16	56	28	0	0	10	60	17	2	2
			17	進路、生徒指導、保健、人権等、学校の諸課題について職員研修を実施する。	18	47	32	0	3	12	56	20	8	4	8	63	15	4	0
	教育課程	教育課程の編成	18	教育目標の実現を目指して、生徒・学校の実態を考慮した適切な教育課程を編成する。	9	59	29	0	3	24	52	24	0	0	4	71	8	4	2
		教育課程の実施運営	19	1回当たりの授業時間（６５分授業等）、定期考査の実施時期などを検討し、本校に適した制度を見出す。	12	50	21	9	9	28	48	20	4	0	15	43	23	2	2
	基礎基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	20	定期考査等で生徒の学力を的確に把握し、その結果を授業、補習、補充等での指導に反映する。	24	53	15	3	6	20	64	16	0	0	10	73	8	0	0
			21	教科毎に評価基準を設定し、それに基づいた評価を行う。	35	50	6	0	9	36	48	12	4	0	25	58	4	2	0

職員による学校自己点検					平成 30 年度 (%)					平成 29 年度 (%)					平成 28 年度 (%)				
教育課程	個に応じた学習指導	指導形態の工夫	22	習熟度別指導、少人数指導、同室複数指導等で、個に応じた指導を行い、学力向上を図る。	18	56	9	0	18	12	56	24	0	8	8	58	10	6	4
			23	年間計画に基づいて、計画的、系統的に学習指導を行う。	24	53	21	0	3	28	56	16	0	0	19	60	10	0	0
			24	自ら主体的に学ぶ習慣を身に付けさせる。	9	47	38	3	3	8	52	36	0	4	4	50	31	0	4
	総合的な学習の時間	実施計画	25	教務部、進路指導部を中心として、3年間を見据えた指導計画を作成する。	15	35	35	0	15	16	48	24	0	12	6	65	6	6	6
			26	図書館や情報教室等の施設を利用した探究活動や、発表等による表現活動を行う。	15	56	21	0	9	16	60	20	4	0	10	50	25	2	0
	特別活動	学校行事の精選と内容の充実	27	行事を精選し、適切な時期に実施する。	15	47	35	0	3	16	56	20	4	4	8	56	15	8	2
			28	行事内容の充実を図る。	18	50	24	3	6	16	52	20	4	8	10	50	25	2	0
			29	学校行事実施後はアンケート等により、その結果を次回に反映させる。	24	56	18	0	3	32	52	12	0	4	10	63	6	6	2
課題教育	課外活動	ボランティア活動	30	生徒会を中心にして、ボランティア活動、募金活動等に積極的に参加する。	15	41	35	0	9	4	72	12	4	8	6	40	29	2	10
			31	人権ＨＲや講演会等を計画的に実施し、人権についての意識を向上させる。	18	56	18	3	6	12	56	28	0	4	10	65	10	2	0
	防災・安全教育	実践力の向上	32	学校全体の教育活動を通じて、人権を相互に尊重しあう意識、姿勢、実践力を向上させる。	12	53	32	3	0	12	56	24	0	8	6	56	17	2	6
			33	防災（避難）訓練の実施を通し、防災について認識を深め、防災マニュアルの周知を図る。	12	62	24	3	0	16	76	8	0	0	6	56	19	2	4
		実践的な安全教育への取り組み	34	救急救命講習（ＡＥＤ等）を実施し、救急時に対応できる実践力を身につける	32	65	3	0	0	48	48	4	0	0	31	46	6	0	2
			35	生徒会、運動部の生徒を中心とした救急救命講習を実施する。	44	50	3	0	3	60	32	4	0	4	25	58	0	2	2
			36	家庭、関係機関との連携を深め、交通安全指導を強化し、交通ルールを遵守させ事故防止を図る。	12	56	29	0	3	8	52	40	0	0	2	33	40	10	2
	国際理解教育	コミュニケーション能力の向上	37	A L T を外国語の授業に積極的に活用し、コミュニケーション能力の育成を図る。	15	44	18	3	21	28	48	12	0	12	8	56	10	0	13
			38	A L T を授業以外にも積極的に活用し、異文化理解の深化を図る。	15	38	21	6	21	28	36	20	8	8	6	38	27	2	15
			39	国際交流について、今後のあり方を検討し、方向性を決める。	15	24	32	6	24	20	32	16	0	32	10	52	15	4	6
	情報教育	情報活用能力の育成	40	教科「情報」などを通して、機器の活用法・情報モラルを含め、情報活用能力の育成を図る。	18	44	15	0	24	24	52	4	0	20	15	52	6	2	13
	体験活動	就業体験活動の推進	41	保育実習、企業等での体験講話などを通して、職業を体験し、進路についての理解を深める。	9	50	21	0	21	4	40	16	4	36	10	50	8	4	15
			42	地域行事への参加、学校周辺の環境美化、小学校との連携授業を行い、地域との連携を深める。	18	65	12	0	6	12	60	12	4	12	15	46	19	2	6
	特色選抜	特色選抜入学生への指導	43	特色選抜入学生徒に対して、計画的・系統的な指導を行う。	21	44	9	6	21	28	48	12	0	12	15	48	13	4	8
	学力向上	学力向上プロジェクトの推進	44	学力向上のための課題、方向性を明確にする。	18	35	26	12	9	12	52	28	4	4	4	50	21	8	6

職員による自己点検基準		
段階	基準	目標達成率の目安
4	よくできた	80% ～ 100%
3	おおむねできた	50% ～ 79%
2	あまりできなかった	20% ～ 49%
1	できなかった	0% ～ 19%
*	わからない、無回答	